

 Meissa

スマート建設に欠かせない 3Dドローンマッピング プラットフォーム

LEAD THE FIRST STEP OF
HUMANITY WITH SPATIAL DATA



An acceleration program
that continues to face business, technology, and creativity
from three different perspectives.

ABOUT

会社概要

Meissa

ドローンの撮影データをデジタル空間上で統合し、 効率的な建設現場管理に必要な情報を提供



POINT 01

ドローンを中心に、BIM、IoT、モバイル、CCTV、360°パノラマ画像など様々な現場データをつなぎ、スマートな現場管理を実現。



POINT 02

施工管理、現場検測、安全管理、レポート作成など機能ごとにサービスを導入する必要がないワンストッププラットフォーム。



POINT 03

簡単なUI/UX設計により、専門知識がなくてもPCの基本操作ができれば利用可能。

STAGE

資金調達ステージ	Middle / Series B
サービス/プロダクトステージ	Scale up

MEMBER



Seokwon Choi
CEO

初代CEOとして会社を設立し、2019～2021年のシード投資誘致を主導。現在も製品の設計と開発に貢献。



Kim Sanghyun
Business Development Manager

光云大学校 法学部/国際通商学部を卒業後、Keyence Korea マーケティンググループを経て、Meissaに参画。

COMPANY PROFILE

企業名	Meissa Inc.
創業年	2017年
本社所在地	ソウル / 韓国
WEB	https://jp.meissa.ai/



CONFIDENTIAL

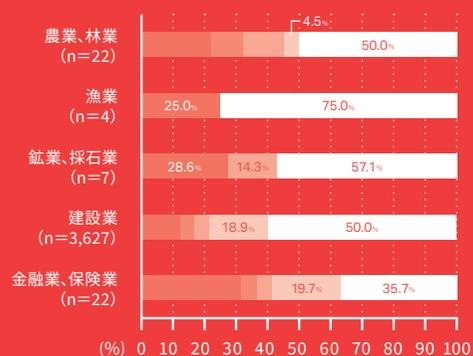
BACKGROUND

課題・背景

建築現場での“人”の作業をより生産的に、より安全に

業種別DX化状況

- 2018年度以前から実施している
- 2019年度以前から実施している
- 2020年度以前から実施している
- 実施していない/今後実施を検討
- 実施していない/今後も予定なし

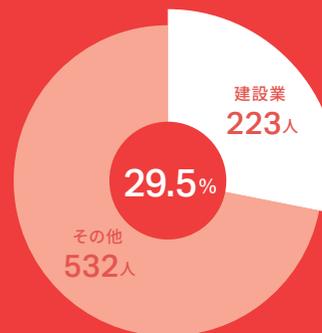


日本国内の建設DX化はまだこれから

複雑化・老朽化・ブラックボックス化したレガシーシステムの継続利用による経済損失リスクを経済産業省が「2025年の崖」と称し警鐘を鳴らしています。これは建設業界でも例に漏れず、i-Constructionの取り組みが注目されているものの、DXはまだまだ進んでいるとはいえない状況です。

出典:DX白書2023
<https://www.ipa.go.jp/publish/wp-dx/gmcbt8000000botk-att/000108041.pdf>

「建設業」が労働死亡災害に占める割合



後を絶たない建設現場の墜落・転落災害

厚生労働省がまとめた2023年の労働災害発生状況(確定値)によると建設業全体の死者数は223人。

これは全産業の29.5%を占め、業種別でも多い数字です。このうち「墜落・転落」で亡くなったのが86人。実に死亡災害の4割を占め、この割合は何年も変わっていません。

出典:2023(令和5)年 建設業労働災害防止協会

解決へのアプローチ

Meissaの製品は、ドローンによるデータ収集/分析でDX化を加速させ効率性と安全性を高めることで建設業界に大きなインパクトを与えます。

Meissaがもたらす
“新しい価値”とは?



CONFIDENTIAL

SOLUTION

技術・プロダクト

独自の3Dマッピング技術を用いた 統合スマート建設プラットフォーム

専門的な知識がなくても導入・活用可能

建設・土木現場でドローンが撮影した画像から、3Dモデルを作成します。

生成されるモデルの誤差は5センチ以内。図面と進捗状況の比較、測量、土量計算などが簡単に行えます。

遠隔モニタリングが可能で、作業の遅れや間違いも、現場に行かず本社にしながら把握できます。

ドローンの扱いに慣れていなくても心配はありません。飛行経路を同社のドローン制御専用アプリ「Meissa Flight」によって設定することで、初心者でも簡単に自律飛行を指示し、撮影できます。

Meissa Platformの優れたUI/UX

数回クリックするだけで、土工量算出や断面図、土工横断線などの測量成果物を正確に確認できます。

ドローンが撮影できない屋内のデータは、CCTVカメラや360°カメラのデータと統合し取得します。最新の現場地図にCAD図面やBIMなどのデータを重ねて、正確な施工管理が可能になります。

定期的に取得した現場データはすべてクラウド上にアーカイブされます。



ADVANTAGE

導入メリット

Meissaの技術で変わる未来



断片化された情報から、 時系列管理された 比較しやすい情報へ

Meissa Platformなら、同じ画角で撮影された画像から現場の進捗や完成度を直感的かつ細かく管理できます。

また、図面ファイルと現場地図を重ね合わせて施工管理も可能です。



リアルタイム位置情報観測 による作業者の安全管理

アプリ「Meissa Guard」では、人員、重機、装備などの位置情報をリアルタイムで確認することができます。作業者が危険区域に侵入する際、現場担当者に通知が届き、事故を未然に防ぐことが可能です。

PATENT

特許

- ドローンを利用した土工量算出システムおよびこれを利用した土工量算出方法(登録)
- 地上基準点のポジショニング方法および装置(登録)
- 3次元ポイントクラウドのオブジェクト検出方法および装置(登録)

その他10件の特許を取得し、現在2件の出願中です。

AWARD

賞

- 2018年 ソウル特別市 ドローン活用政策提案コンテスト 最優秀賞(ソウル特別市)
- 2021年 スマート建設チャレンジ ロボティクス分野 イノベーション賞(韓国道路公社)
- 2022年 ウィコノミー スタートアップ チャレンジ 優秀賞(ソウル産業振興院)
韓国成長金融 善良な雇用創出企業 大賞(韓国成長金融)
- 2023年 スマート建設チャレンジ 鉄道分野 大臣賞(国土交通省)



USE CASE

海外における活用・実証事例

韓国大手8社に導入済み。アメリカと東南アジアを経て日本へ

01

国内外の導入件数200件以上、現場再契約率80%以上と、Meissaは韓国1位の建設データプラットフォームとして優れた成果を生み出している。

02

広大な土木現場の複数の工事エリアをMeissa Platformで簡単かつ迅速に監視・管理可能。

03

直接訪問するのが難しい海外地域も、Meissa Platformを通じて世界中どこでも現場を把握可能。



日本国内事例

(スーパーゼネコン 建築工事)

24年に初めて日本の建設現場に導入し、現場の方々からご意見を頂きながら機能改善・新機能開発。高い満足度を達成しています。



海外事例

(ラオスメコン川インフラ事業)

産業団地開発からインフラ事業まで様々な海外実績を保有。Meissa Platformは英語にも対応しており、海外現場の管理にも役立ちます。

POTENTIAL

活用イメージ

地形データが付随する プロジェクトならなんでも対応

スマート建設

ドローン測量

3次元測量

ゴルフコース管理にも応用中

広大なゴルフ場を管理するには、労力が必要。

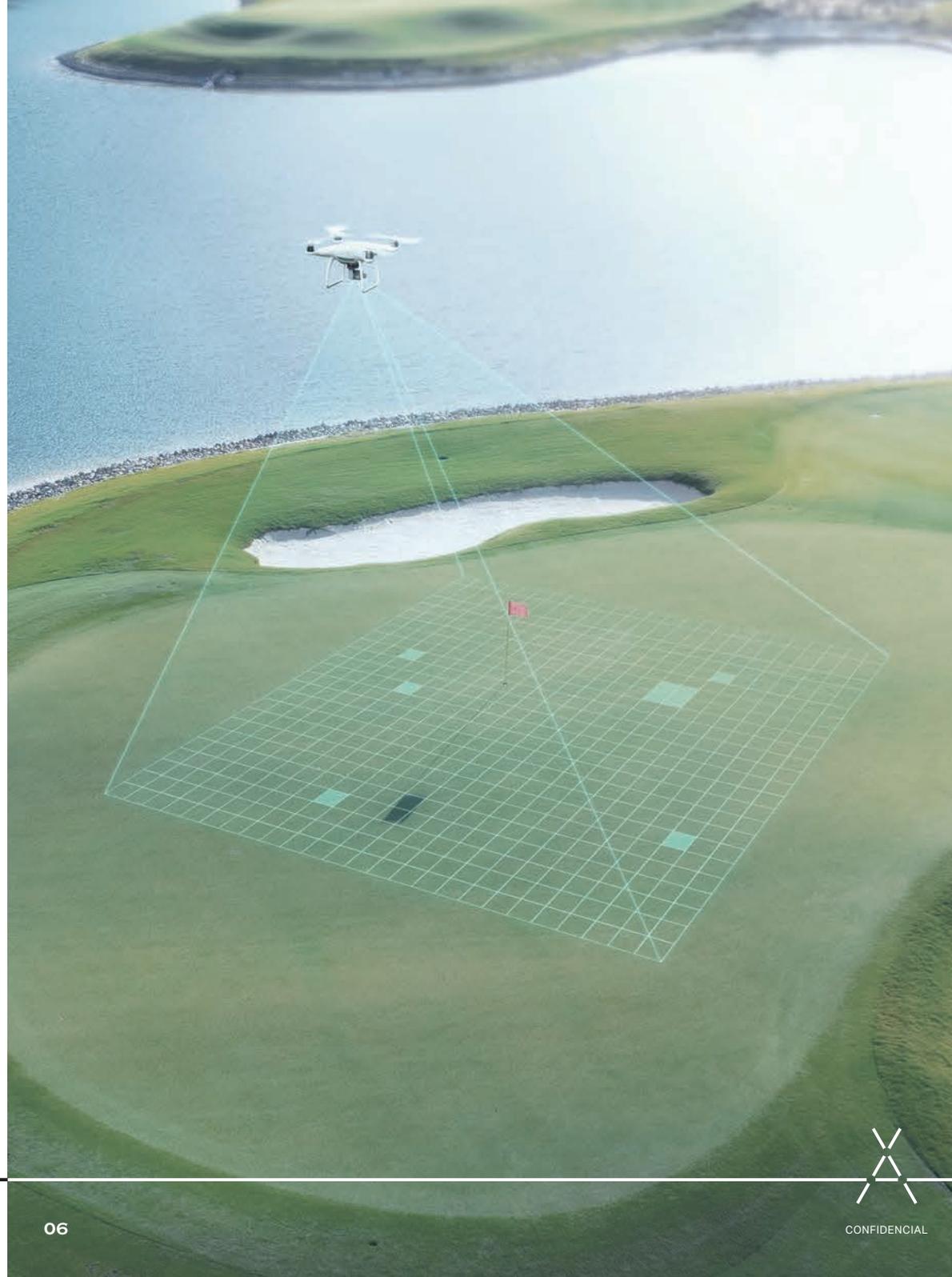
そこでドローンを活用し、芝の健康状態や修繕箇所、

アップデート箇所を洗い出すという「Meissa Green」をリリース。

ゴルフ場のコース管理チームのコミュニケーションも、

アプリを使うことで円滑で効率的なものになります。

その他森林管理や災害予測など、地形データが必要なプロジェクトへのさらなる応用が期待されます。



RECOMMEND

CBITからの推薦文

B

BUSINESS | 野村総合研究所 Consultant 西山実優

Meissaは、3DドローンマッピングとAIを活用し、建設現場の効率化と安全性向上を支援します。韓国の主要ゼネコン会社への導入実績がある同社は、建設現場が韓国と似ている日本に着目しています。日本の建設現場における高いITインフラとの相性が良く、プロジェクト管理の効率化やコスト削減に貢献する技術を持ち、BIM(建物情報モデル)との統合による精密な現場管理が可能となり、生産性を大幅に向上させます。

TECHNOLOGIES | SRI Senior Managing Strategist, Emerging Technologies Amit Mulgaonkar, Ph.D.

物理的な世界とデジタルの世界がますます融合していく中で、物理インフラのデジタルツインの作成がますます重要になっていくでしょう。Meissaの複数のデータ形式を統合するプラットフォームは、今後の建設管理や維持管理において極めて有用なツールとなるはずで

CREATIVE | StudioDetails Brand Director 大井祝斉

Meissaの3DドローンマッピングとAIを掛け合わせた技術は、建設現場にこれまでになかった安全性と効率をもたらします。一貫性があり使いやすいUIはすでにある日本の3Dドローンマッピングと組み合わせることが可能なので、Meissaはライバルとして日本市場を脅かすものではなくアップデートとして機能します。すでに韓国での実績が多々ある確立された技術は、これからの日本の都市開発・建設プロジェクトには欠かせない存在となるでしょう。

T

C



MESSAGE FROM STARTUP

スタートアップからのメッセージ

Meissaは、「見えなかった現場の価値を可視化する」という理念のもと、専門知識がなくても簡単に利用できる3Dマッピングソリューションを建設現場向けに提供しています。

私たちは、パートナー企業との共同R&Dや技術連携、PoCを通じて、持続可能で効率的なソリューションを構築することを期待しています。ぜひ、共に未来の建設現場を創り上げていきましょう！

Meissa provides 3D mapping solutions for construction sites that are easy to use even without specialized knowledge, based on the philosophy of "visualizing the hidden value of the site."

We look forward to building sustainable and efficient solutions through joint R&D, technology collaboration, and PoC with our partner companies.

Let's work together to create the construction sites of the future!

Meissa CEO
Seokwon Choi





※ 当資料上における画像は、合成イメージを含みます。